



2020年3月期 連結決算概況

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

ハイライト

2020年3月期 通期実績

前年比

- ☑ 売上高： 連結では為替を除く実質ベースで4%増収
医療分野は3期連続、過去最高の売上を達成
- ☑ 営業利益： 販管費の効率化が奏功する等、大幅な増益を実現
 - － 販管費率は4.3pt改善し、50.8%

見通し比

- ☑ 売上高・営業利益： 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、計画を下回る結果
この影響を除くと、売上高・営業利益ともに計画通り

01

**2020年3月期
連結業績および事業概況**

2020年3月期 通期実績 ①連結業績概況

- 1 売上高： 3期連続、過去最高の売上高を達成した医療分野が牽引。為替を除く実質ベースで4%の増収
- 2 営業利益： 販管費は減少し、営業利益は大幅な増益を達成

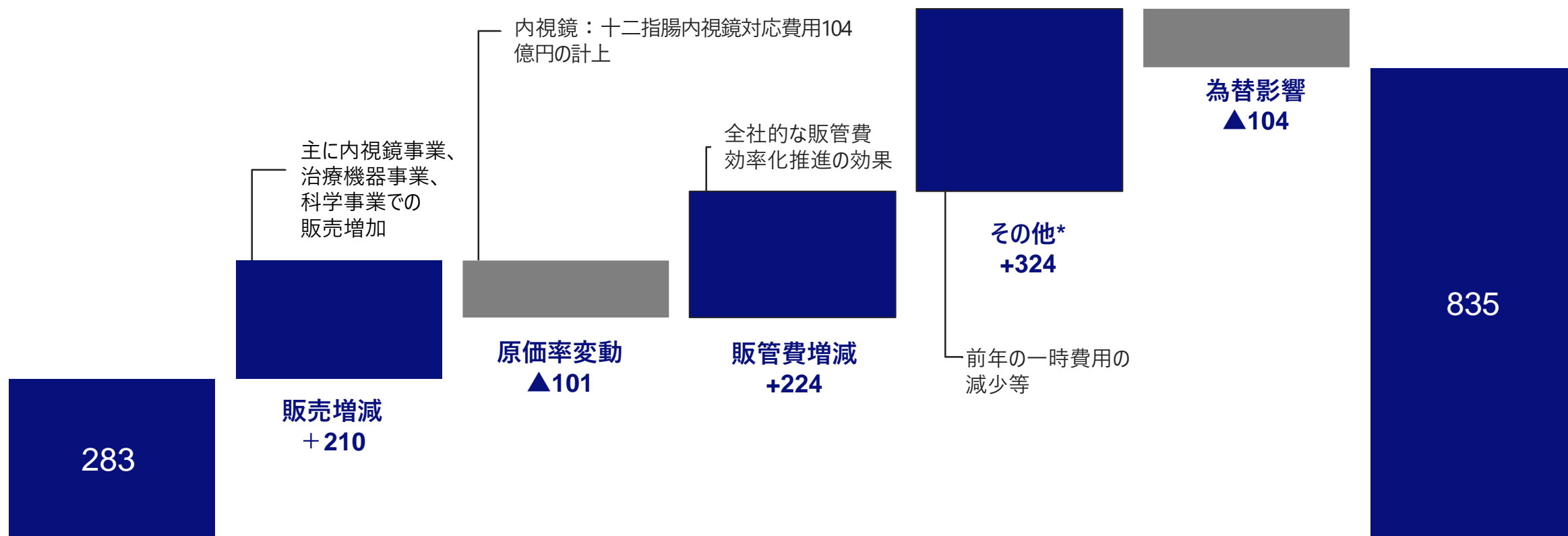
(単位：億円)	通期実績（4-3月）				参考数値	
	2019年3月期	2020年3月期	前年比	為替影響調整後	為替+Covid-19 影響調整後	
売上高	7,939	1 7,974	0%	+4%	+5%	
売上総利益 (売上総利益率)	5,096 (64.2%)	4,996 (62.6%)	▲2%	+2%	+4%	
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,375 (55.1%)	2 4,050 (50.8%)	▲7%	▲5%	▲5%	
その他の収益および費用等	▲438	▲111	-	-	-	
営業利益 (営業利益率)	283 (3.6%)	2 835 (10.5%)	+195%	+232%	+259%	
税引前利益 (税引前利益率)	201 (2.5%)	778 (9.8%)	+287%			
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	81 (1.0%)	517 (6.5%)	+534%			
EPS	6円	39円				
円/USDドル	111円	109円				
円/Euro	128円	121円				
円/CNY	17円	16円				

2020年3月期配当

年間配当10円

2020年3月期 通期実績 ①連結営業利益増減要因

通期実績（4-3月）



2019年3月期
営業利益

2020年3月期
営業利益

*主なその他費用

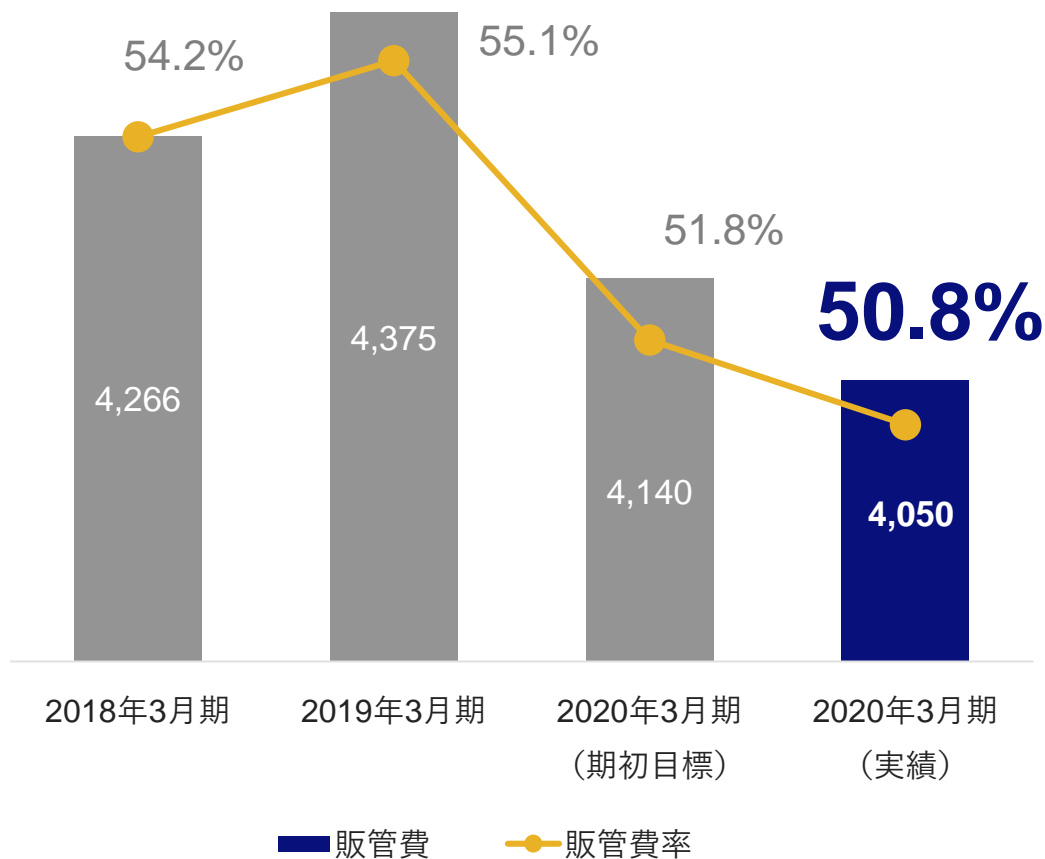
2019年3月期	2020年3月期
<ul style="list-style-type: none"> 証券訴訟の和解金 194億円 米国司法省との司法取引契約締結に伴う費用 97億円 中国生産子会社に対する訴訟の引当金 38億円 中国生産子会社操業停止に伴う費用 62億円 婦人科向け製品の開発資産の減損 13億円 映像事業の固定資産の減損 20億円 	<ul style="list-style-type: none"> Transform Olympus関連費用 40億円 十二指腸内視鏡関連の減損 15億円 映像事業の固定資産の減損 15億円

(単位：億円) *その他には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています。

販管費の効率化

前年比で販管費は325億円減少、販管費率は4.3pt改善し、大幅な効率化を実現

(単位：億円)



減少の大きい項目（前年比）

- 研究開発費： ▲160億円*（資産化控除後）
- 販売促進費： ▲50億円
- 旅費交通費： ▲39億円

2020年3月期 通期実績 ①連結業績概況（見通し比）

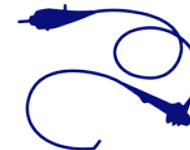
- 1** 売上高： 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、計画を下回る結果（この影響を除くと、計画通りの進捗）
- 2** 営業利益： 新型コロナウイルスの影響による売上減に伴う粗利減を主要因に、計画を下回る結果

第4四半期実績（4-3月）

参考数値

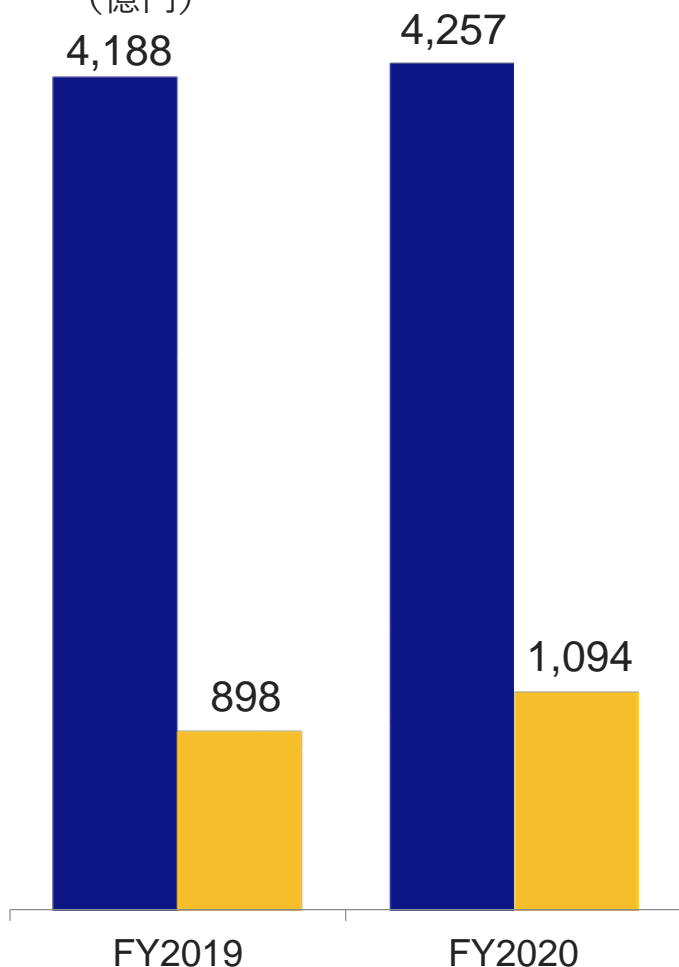
(単位：億円)	2020年3月期見通し (2月6日公表)	2020年3月期		見通し比	為替 影響調整後	参考数値 為替+Covid-19影響調整後
		1	2			
売上高	8,100	7,974		▲2%	▲2%	0%
売上総利益 (売上総利益率)	5,090 (62.8%)	4,996 (62.6%)		▲2%	▲2%	0%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,100 (50.6%)	4,050 (50.8%)		▲1%	▲1%	▲1%
その他の収益および費用等	▲70	▲111		-	-	-
営業利益 (営業利益率)	920 (11.4%)	835 (10.5%)		▲9%	▲9%	▲1%
税引前利益 (税引前利益率)	870 (10.7%)	778 (9.8%)		▲11%		
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	640 (7.9%)	517 (6.5%)		▲19%		
EPS	48円	39円				
円/USドル	109円	109円				
円/Euro	121円	121円				
円/CNY	16円	16円				

2020年3月期 通期実績 ②内視鏡事業



■ 売上高 ■ 営業利益

(億円)



☑ 売上高

- 通期実績：中国の高い売上成長（為替影響調整後+28%）を主要因として、海外が好調に推移し、増収（為替影響調整後+5%）
- 4Q実績：新型コロナウイルスの影響はあったものの、為替を除く実質ベースで前年並みの水準

☑ 営業利益

- 増収および販管費の効率化により、大幅な増益を達成

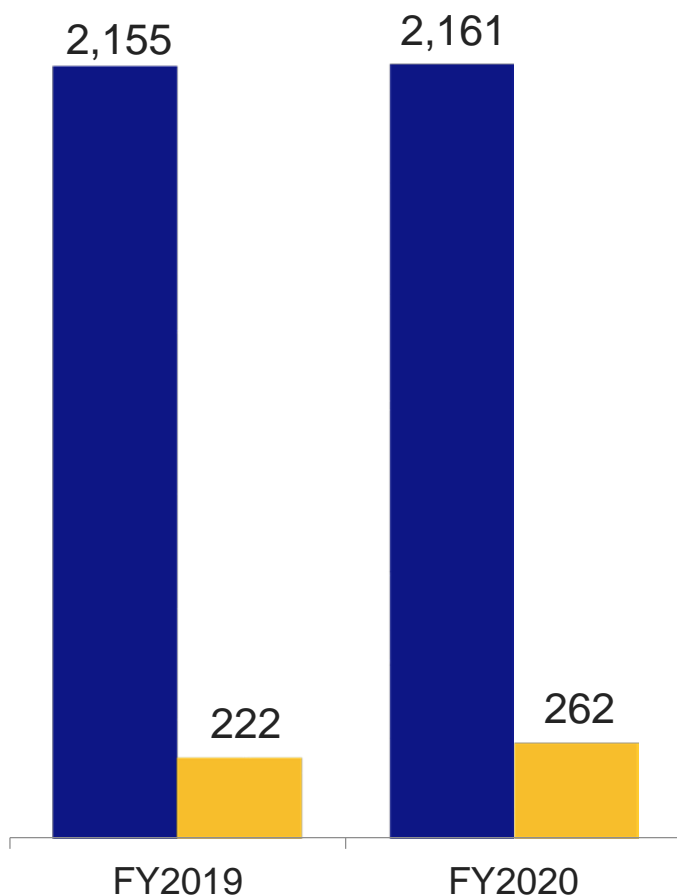
単位: 億円	通期実績 (4-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後	第4四半期実績 (1-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後
	FY2019	FY2020	前年比	為替影響調整後		FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後	
売上高	4,188	4,257	+2%	+5%	+6%	1,150	1,106	▲4%	▲1%	+2%
営業利益	898	1,094	+22%	+30%	+33%	240	178	▲26%	▲18%	▲7%
その他の損益*	▲90	▲19	-	-	-	▲21	▲12	-	-	-
営業利益率	21.4%	25.7%		26.6%	28.1%	20.9%	16.1%		17.4%	20.3%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

2020年3月期 通期実績 ③治療機器事業



■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



- ✔ **売上高**
 - 通期実績：処置具を中心に売上を伸ばし、増収（為替影響調整後+4%）
 - 4Q実績：新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、緊急度に応じて症例数が減少し、北米、中国等で減収
- ✔ **営業利益**
 - 増収および前年の一時費用の減少等により、増益（為替影響調整後+26%）

単位: 億円	通期実績 (4-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後	第4四半期実績 (1-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後
	FY2019	FY2020	前年比	為替影響 調整後		FY2019	FY2020	前年 同期比	為替影響 調整後	
売上高	2,155	2,161	0%	+4%	+5%	549	525	▲4%	▲2%	+3%
営業利益	222	262	+18%	+26%	+36%	14	37	+161%	+184%	+347%
その他の損益*	▲34	▲20	-	-	-	▲34	▲9	-	-	-
営業利益率	10.3%	12.1%		12.5%	14.0%	2.6%	7.0%		7.4%	12.0%

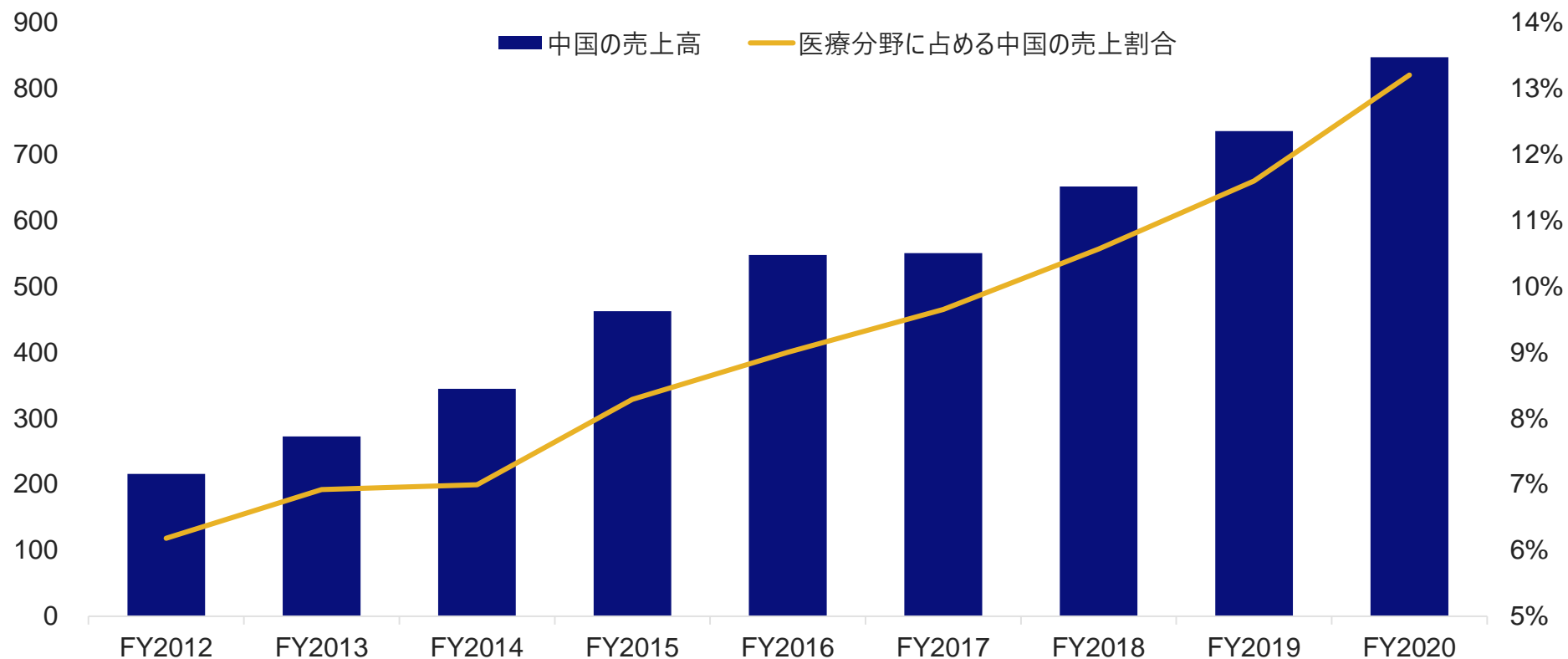
*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

医療分野の成長を牽引する中国

2020年3月期は、4Qは新型コロナウイルスの影響を受けたものの、通期では+22%の高い成長を実現

医療分野における中国の売上成長推移

(億円)



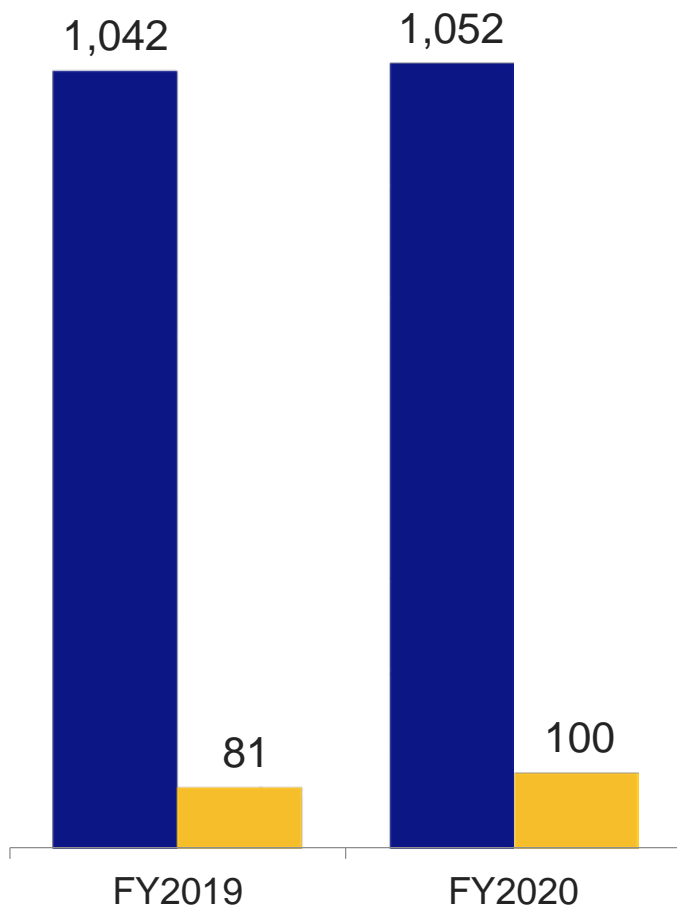
+22%

通期成長率
(為替影響調整後)
2020年3月期

2020年3月期 通期実績 ④科学事業



■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



✓ 売上高

- 通期実績：生物顕微鏡は全地域で好調に推移し、工業用内視鏡の新製品効果や非破壊検査機器の北米を中心とした売上成長により増収
- 4Q実績：新型コロナウイルスの影響により、一部地域で納品の延期等が発生し、減収

✓ 営業利益

- 増収および販管費の効率的なコントロールにより、過去最高の営業利益

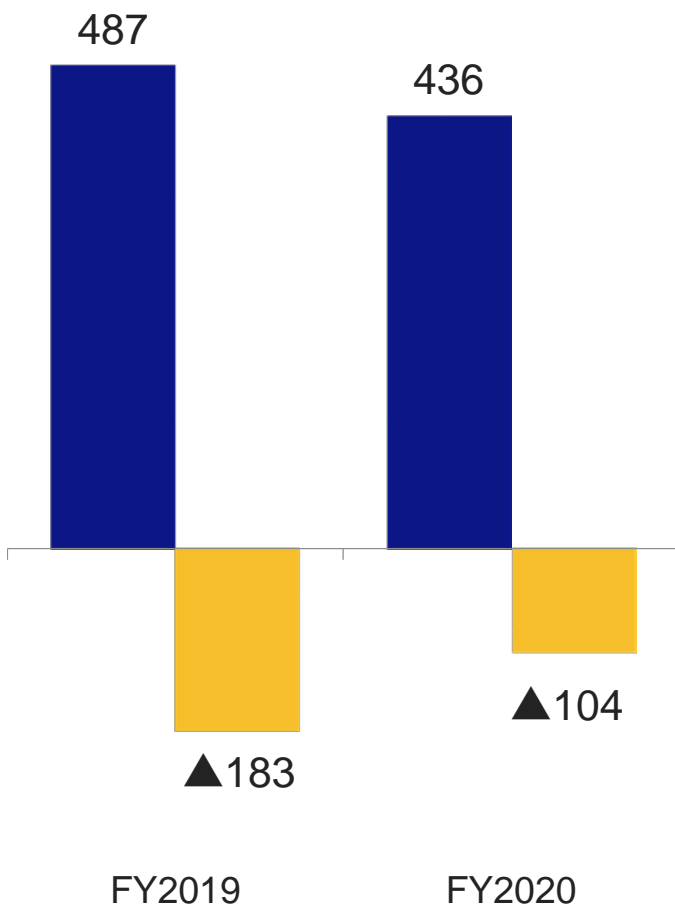
単位: 億円	通期実績 (4-3月)				参考数値	第4四半期実績 (1-3月)				参考数値
	FY2019	FY2020	前年比	為替影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後
売上高	1,042	1,052	+1%	+4%	+8%	310	286	▲8%	▲6%	+6%
営業利益	81	100	+23%	+37%	+60%	32	20	▲37%	▲28%	+29%
その他の損益*	▲7	▲5	-	-	-	▲6	▲1	-	-	-
営業利益率	7.8%	9.5%		10.3%	12.4%	10.3%	7.0%		7.8%	14.3%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

2020年3月期 通期実績 ⑤映像事業



■ 売上高 ■ 営業損益
(億円)



✓ 売上高

- 通期実績：厳しい事業環境に加え、上期は生産拠点再編の影響により新製品の導入ができず、4Qには新型コロナウイルスの影響もあり、減収
- 4Q実績：新型コロナウイルスの影響もあり減収
4Qに発売した新製品「OM-D E-M1 Mark III」の販売は好調に推移

✓ 営業損益

- 前期に計上した生産拠点の再編に伴う費用が今期は発生していないこと、および販管費の効率化により、損失は縮小

単位: 億円	通期実績 (4-3月)				参考数値	第4四半期実績 (1-3月)				参考数値
	FY2019	FY2020	前年比	為替影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後	FY2019	FY2020	前年同期比	為替影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後
売上高	487	436	▲10%	▲8%	▲2%	103	89	▲14%	▲13%	+12%
ミラーレス	360	324	▲10%	▲7%	-	78	64	▲17%	▲16%	-
コンパクト	71	62	▲12%	▲9%	-	12	12	0%	+2%	-
その他	56	49	▲12%	▲9%	-	13	12	▲9%	▲7%	-
営業損益	▲183	▲104	+79億円	+81億円	+90億円	▲51	▲30	+21億円	+20億円	+29億円
その他の損益*	▲79	▲16	-	-	-	▲11	▲2	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

財政状態計算書

- ☑ 国際会計基準の新リース基準（IFRS第16号）を適用した影響により、資産、負債ともに増加
- ☑ 安定的な事業運営のために現預金が増加。社債やコマーシャル・ペーパー等の発行により、社債および借入金が増加
- ☑ 自己株式の取得により資本は減少

(単位：億円)	2019年3月末	2020年3月末	増減額
流動資産	4,560	5,067	+507
棚卸資産	1,536	1,676	+140
非流動資産	4,760	5,090	+330
有形固定資産	1,769	2,021	+252
無形資産・その他	1,979	2,085	+106
のれん	1,012	983	▲29
資産 合計	9,320	10,157	+836

	2019年3月末	2020年3月末	増減額
流動負債	2,875	3,338	+463
社債及び借入金	597	810	+213
非流動負債	2,021	3,099	+1,078
社債及び借入金	1,216	1,999	+783
資本	4,424	3,720	▲704
自己資本比率	47.3%	36.5%	▲10.8pt
負債及び資本合計	9,320	10,157	+836

有利子負債：2,809（2019年3月末比+996）

連結キャッシュフロー計算書

- ☑ FCF：医療分野を中心とした営業利益の創出により、711億円のプラス
- ☑ 財務CF：コマーシャル・ペーパーや社債等による調達的一方、自己株式の取得（934億円）や借入金の返済により、195億円のマイナス

通期実績（4-3月）

（単位：億円）

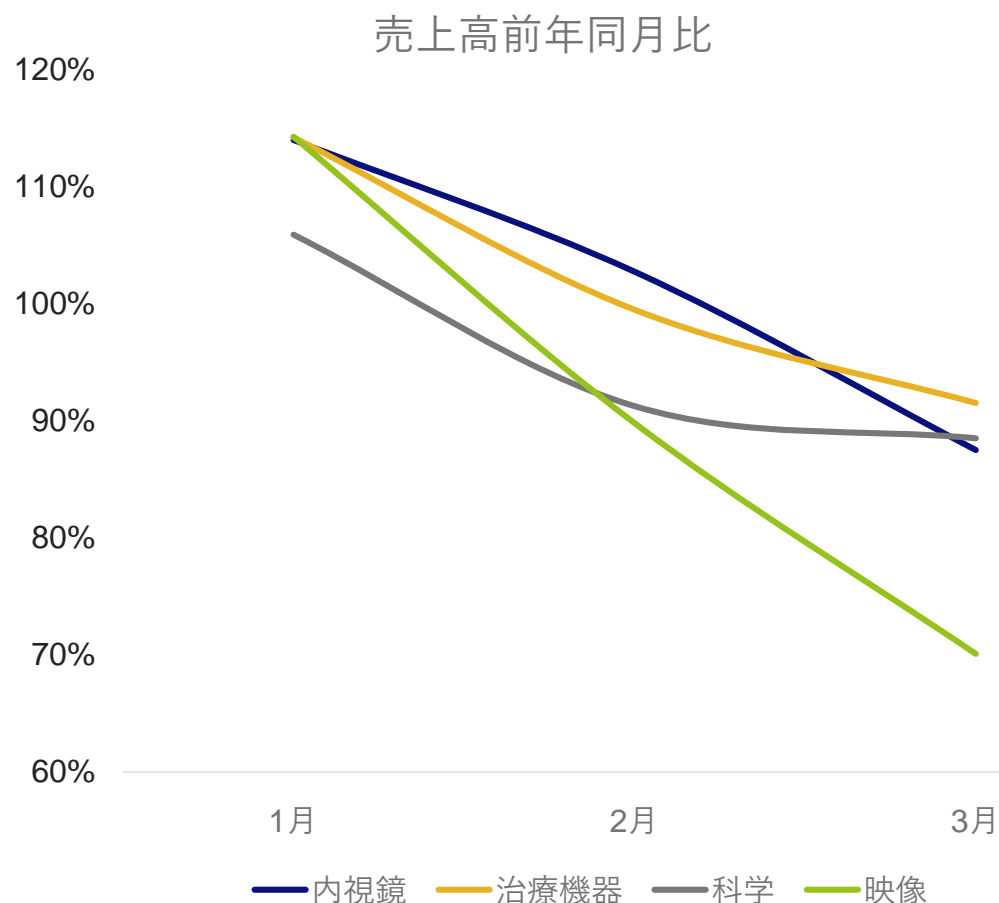
	2019年3月期	2020年3月期	増減
売上高	7,939	7,974	+35
営業利益	283	835	+552
営業利益率	3.6%	10.5%	+6.9pt
営業キャッシュフロー	669	1,335	+666
投資キャッシュフロー	▲603	▲624	▲21
フリーキャッシュフロー	66	711	+645
財務キャッシュフロー	▲829	▲195	+635
現金及び現金同等物期末残高	1,146	1,627	+482

02

新型コロナウイルスの影響および 今後のスケジュールについて

新型コロナウイルスの影響（1-3月）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2月以降売上高が次第に減少



内視鏡 治療機器

- 消化器内視鏡検査、外科手術は緊急度に応じて延期、中止が推奨されていることにより、症例数は減少
- 病院への訪問は必要最小限に留めており、販促活動に制約が生じている

科学

- 一部商談で納品の延期等が発生
- オンラインでのデモンストレーションや販促活動等を実施
- 中国では3月以降、電子部品、半導体市場は回復の兆候

映像

- 2・3月より全世界の多くの販売店で営業停止
- 商談やイベントの中止が発生

今後の見方

FY2021の 見方の前提

- 第2四半期末までに新型コロナウイルスの影響は徐々に収束すると仮定（中国は回復基調）
- 第3四半期から顧客・病院の業務が徐々に正常化され、当社も通常の営業活動に戻っていく見込みだが、収束後、急激な経済回復は期待できないと認識（第2波が到来する可能性等、リスクシナリオとして認識しており、見通しは状況に合わせてアップデート予定）

内視鏡 治療機器

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院への訪問に制約が生じる状況が続くと想定
- 各国の学会で緊急性の低い症例の延期、中止がガイドラインで策定されているため、需要の回復には時間がかかる見込み
- 年度末に向けて、延期されている検査や手技の実施が進み、需要は徐々に回復していくと想定

科学

- 生物顕微鏡：病院、大学等の教育機関の状況に左右されるため、需要回復に時間がかかる見込み
- 産業製品：航空や自動車産業を中心に投資先送り等の発生が見込まれる

映像

- 販売店の営業再開の動きもあるが、外出制限の厳しい地域も多く、SNS等、オンラインでの訴求を強化
- コンシューマー市場の需要回復には、より時間を要すると想定

安定的な事業運営に向けてのキャッシュマネジメント



約3,000億円の流動性を確保*

コマーシャル・ペーパーを800億円追加発行し、
連結現預金残高は約2,100億円を確保

- 上記の他、未使用のコミットメントライン
(約1,000億円) を維持



グローバルキャッシュマネジメント体制

グループ内のドル、ユーロ、円資金を集中・
一元管理し、手元流動性（各通貨）を
効率活用

*2020年4月末時点

全ての費用・投資をゼロベースで見直し、販管費をコントロール



採用計画の原則凍結



新規プロジェクトの延期



費用、投資の優先順位見直し

次世代の内視鏡ビデオスコープシステム「EVIS X1」を発売

EVIS X1

次世代の内視鏡ビデオスコープシステム「EVIS X1」を 欧州・アジア一部地域で発売

- 病変の発見、診断、治療に革新をもたらす新技術の搭載
- グローバル統一モデル
- 人工知能（AI）を取り入れた次世代技術を開発中

その他の地域は、規制当局の承認が得られた市場から
順次市場導入を進める



今後のスケジュールについて

2021年3月期 業績見通しについて

日時 2020年6月24日（水）

説明者 取締役 代表執行役 社長兼CEO 竹内 康雄

株主総会

日時 2020年7月30日（木）

基準日変更のご案内（2020年4月30日に適時開示済み）

基準日： 2020年5月31日（日）

公告日： 2020年5月15日（金）

公告方法： 電子公告（当社ホームページ上に掲載いたします。）

<https://www.olympus.co.jp/ir/>

OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

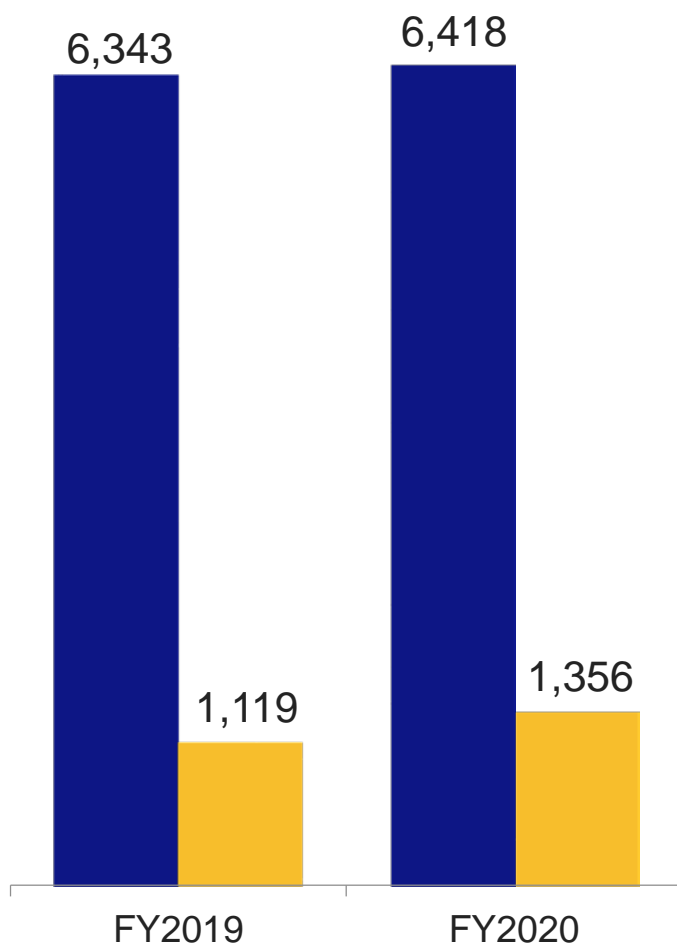
03 Appendix

参考資料：2020年3月期 通期実績 セグメント別概況

		通期実績（4-3月）				参考数値	第4四半期実績（1-3月）				参考数値
単位：億円		2019年3月期	2020年3月期	前年比	為替 影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後	2019年3月期	2020年3月期	前年比	為替 影響調整後	為替+ Covid-19 影響調整後
内視鏡	売上高	4,188	4,257	+2%	+5%	+6%	1,150	1,106	▲4%	▲1%	+2%
	営業利益	898	1,094	+22%	+30%	+33%	240	178	▲26%	▲18%	▲7%
治療機器	売上高	2,155	2,161	0%	+4%	+5%	549	525	▲4%	▲2%	+3%
	営業利益	222	262	+18%	+26%	+36%	14	37	+161%	+184%	+347%
科学	売上高	1,042	1,052	+1%	+4%	+8%	310	286	▲8%	▲6%	+6%
	営業利益	81	100	+23%	+37%	+60%	32	20	▲37%	▲28%	+29%
映像	売上高	487	436	▲10%	▲8%	▲2%	103	89	▲14%	▲13%	+12%
	営業損益	▲183	▲104	+79億円	+81億円	+90億円	▲51	▲30	+21億円	+20億円	+29億円
その他	売上高	67	68	+2%	+2%	+2%	16	18	+12%	+12%	+12%
	営業損益	▲35	▲27	+7億円	+7億円	+7億円	▲13	▲9	+4億円	+4億円	+4億円
全社・消去	営業損益	▲700	▲490	+210億円	+208億円	+207億円	▲144	▲145	▲1億円	▲4億円	▲4億円
連結合計	売上高	7,939	7,974	0%	+4%	+5%	2,128	2,023	▲5%	▲3%	+3%
	営業利益	283	835	+195%	+232%	+259%	77	50	▲35%	▲8%	+92%

参考資料：2020年3月期 通期実績 医療事業

■ 売上高
 (億円) ■ 営業利益



☑ 売上高

中国の高い売上成長を主要因に、増収。3期連続、過去最高の売上高を達成

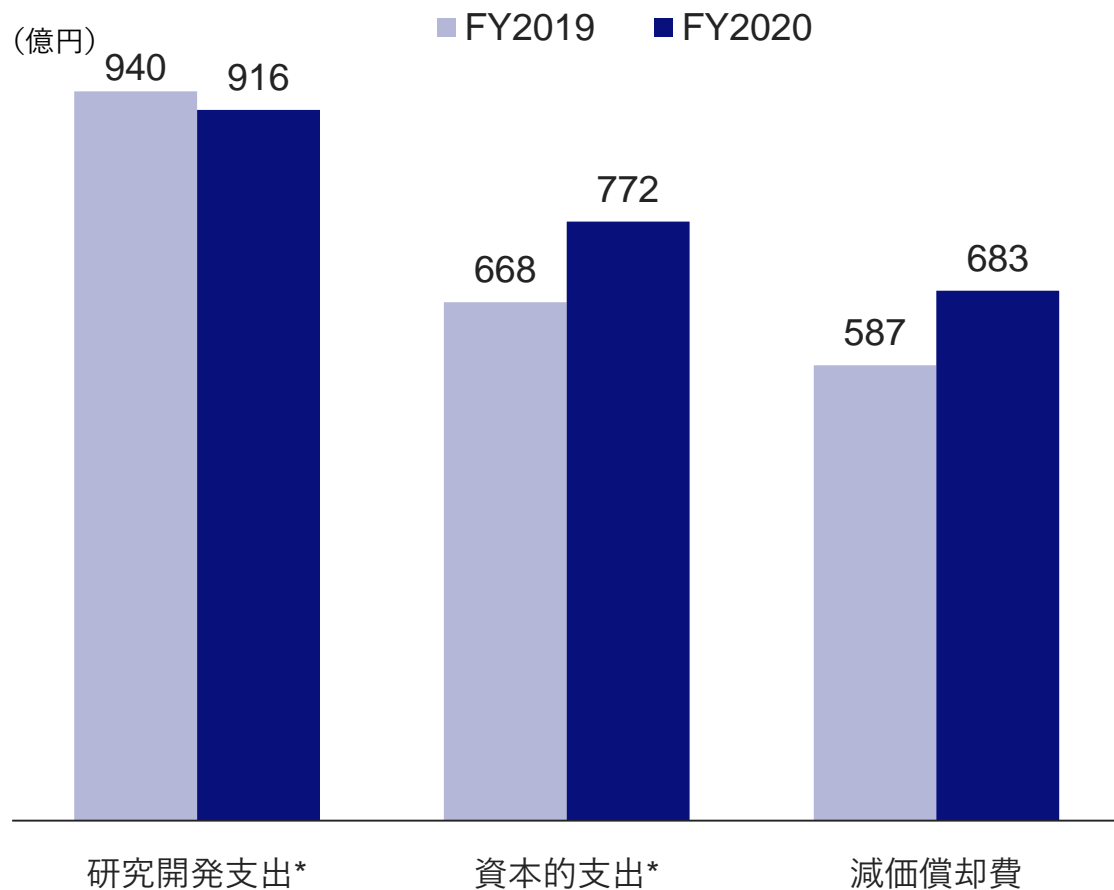
☑ 営業利益

内視鏡事業の増収および販管費の効率化を主要因として、大幅な増益

単位: 億円	通期実績 (4-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後	第4四半期実績 (1-3月)				参考数値 為替+ Covid-19 影響調整後
	FY2019	FY2020	前年比	為替 影響 調整後		FY2019	FY2020	前年 同期比	為替 影響 調整後	
売上高	6,343	6,418	+1%	+5%	+6%	1,699	1,631	▲4%	▲2%	+2%
内視鏡	3,409	3,464	+2%	+6%	-	932	883	▲5%	▲3%	-
外科	2,111	2,104	0%	+3%	-	563	547	▲3%	▲1%	-
処置具	822	850	+2%	+5%	-	204	202	▲3%	▲1%	-
営業利益	1,119	1,356	+21%	+29%	+34%	254	215	▲15%	▲7%	+13%
その他の損益*	▲124	▲38	-	-	-	▲55	▲21	-	-	-
営業利益率	17.6%	21.1%		21.8%	23.3%	15.0%	13.2%		14.2%	17.5%

参考資料：投資等

通期実績（4-3月）



(単位：億円)	FY2019	FY2020
研究開発支出* (a)	940	916
開発費資産化 (b)	94	230
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	846	686

(単位：億円)	FY2019	FY2020
償却費	76	72
	2019年12月末	2020年3月末
開発資産残高	422	477

* 研究開発支出および資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています